

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公開番号】特開 2001-162053 (P2001-162053A)

【公開日】平成 13 年 6 月 19 日 (2001.6.19)

【出願番号】特願 平 11-345517

【国際特許分類】

A 6 3 F 13/12 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 L 12/54 (2006.01)

A 6 3 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 13/12 C

G 0 6 F 12/00 5 1 8 A

G 0 6 F 12/00 5 4 5 M

H 0 4 M 3/00 B

H 0 4 L 12/54

A 6 3 F 13/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 4 日 (2006.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーバからクライアントへのデータ転送を行うデータ転送方法であって、
前記サーバはデータ転送を行う際に、各転送毎に転送 I D 情報を設定し、
前記クライアントは、前記サーバから転送されたデータに設定された転送 I D 情報と自
クライアント内に記憶されている転送 I D 情報とを比較し、
前記クライアントは、当該比較結果に基づいて、前記転送されたデータの自クライア
ントへの格納を制御することを特徴とするデータ転送方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記サーバは、前記転送 I D 情報を一元管理し、転送の順番に従って数値を加算 / また
は減算して転送 I D 情報を生成し、
各クライアントは、自クライアントがデータを格納した最後の転送の転送 I D 情報を記
憶し、
各クライアントは、前記サーバから転送されたデータに設定された転送 I D 情報が、自
クライアントに記憶された転送 I D 情報の番号よりも大きい / または小さい場合にのみ、
前記転送されたデータを自クライアントに格納することを特徴とするデータ転送方法。

【請求項 3】

請求項 1 において、
前記サーバは、前記転送 I D 情報を一元管理し、転送毎に異なる I D となる転送 I D 情
報を生成し、
各クライアントは、自クライアントがデータを格納したすべての転送の転送 I D 情報を

記憶し、

各クライアントは、前記サーバから転送されたデータに設定された転送ID情報が、自クライアントに記憶された転送ID情報のいずれとも一致しない場合にのみ、前記転送されたデータを自クライアントに格納することの特徴とするデータ転送方法。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれかにおいて、

前記転送ID情報は、転送されるデータのヘッダ情報に含まれることを特徴とするデータ転送方法。

【請求項5】

サーバからクライアントへのデータ転送を行うデータ転送方法を各クライアントが実行するためのコンピュータプログラムを格納する記録媒体であって、前記コンピュータプログラムは、

前記サーバから転送されたデータに設定された転送ID情報と自クライアント内に記憶されている転送ID情報とを比較させる処理と、

当該比較結果に基づいて、前記転送されたデータの自クライアントへの格納を制御させる処理とを前記クライアントに実行させ、

前記転送ID情報は、前記サーバがデータ転送を行う際に、各転送毎に転送するデータに設定する情報であることを特徴とする記録媒体。

【請求項6】

サーバからクライアントへのデータ転送を行うデータ転送方法をサーバが実行するためのコンピュータプログラムを格納する記録媒体であって、前記コンピュータプログラムは、

各転送毎に転送ID情報を生成し、転送するデータに当該転送ID情報を設定する処理を前記サーバに実行させ、

当該データに設定される転送ID情報は、当該データを受信したクライアント内に記憶されている転送ID情報と比較され、各クライアントにおいて、前記サーバから転送された当該データに設定された転送ID情報と自クライアント内に記憶されている転送ID情報とが比較され、当該比較結果に基づいて、当該データの自クライアントへの格納が制御されることを特徴とする記録媒体。

【請求項7】

サーバと当該サーバと接続する複数のクライアントとを備え、サーバからクライアントへのデータ転送を行うデータ転送システムであって、

前記サーバはデータ転送を行う際に、各転送毎に転送ID情報を設定し、

前記クライアントは、前記サーバから転送されたデータに設定された転送ID情報と自クライアント内に記憶されている転送ID情報とを比較し、

前記クライアントは、その比較結果に基づいて、前記転送されたデータの自クライアントへの格納を制御することの特徴とするデータ転送システム。

【請求項8】

クライアントから受信したデータを別のクライアントに転送するサーバであって、

前記サーバは、各転送毎に転送ID情報を生成し、転送するデータに当該転送ID情報を設定して、当該データを前記別のクライアントに転送し、

当該データに設定される転送ID情報は、当該データを受信したクライアント内に記憶されている転送ID情報と比較され、各クライアントにおいて、前記サーバから転送された当該データに設定された転送ID情報と自クライアント内に記憶されている転送ID情報とが比較され、当該比較結果に基づいて、当該データの自クライアントへの格納が制御されることを特徴とするサーバ。

【請求項9】

サーバから転送されるデータを受信するクライアントであって、

前記クライアントは、前記サーバから転送されたデータに設定された転送ID情報と自クライアント内に記憶されている転送ID情報とを比較し、当該比較結果に基づいて、前

記転送されたデータの自クライアントへの格納を制御し、

前記転送ID情報は、前記サーバがデータ転送を行う際に、各転送毎に転送するデータに設定する情報であることを特徴とするクライアント。